



あなたの、いちばんちかくで。

人の暮らしが、企業のあり方が、あらゆるものが変わり続けています。

抱える課題も、描く未来も、求めるものも、多種多様で先の見えにくい時代。

だからこそ、お客さまのいちばんちかくで支えていかなければいけない。そう思うのです。

日々のよろこびも、将来への不安も、お客さまと同じ目線で分かちあいながら、

確かな未来を築くお手伝いをするために。

この地域でいちばんに相談できて、いちばん頼りになるパートナーであるために。

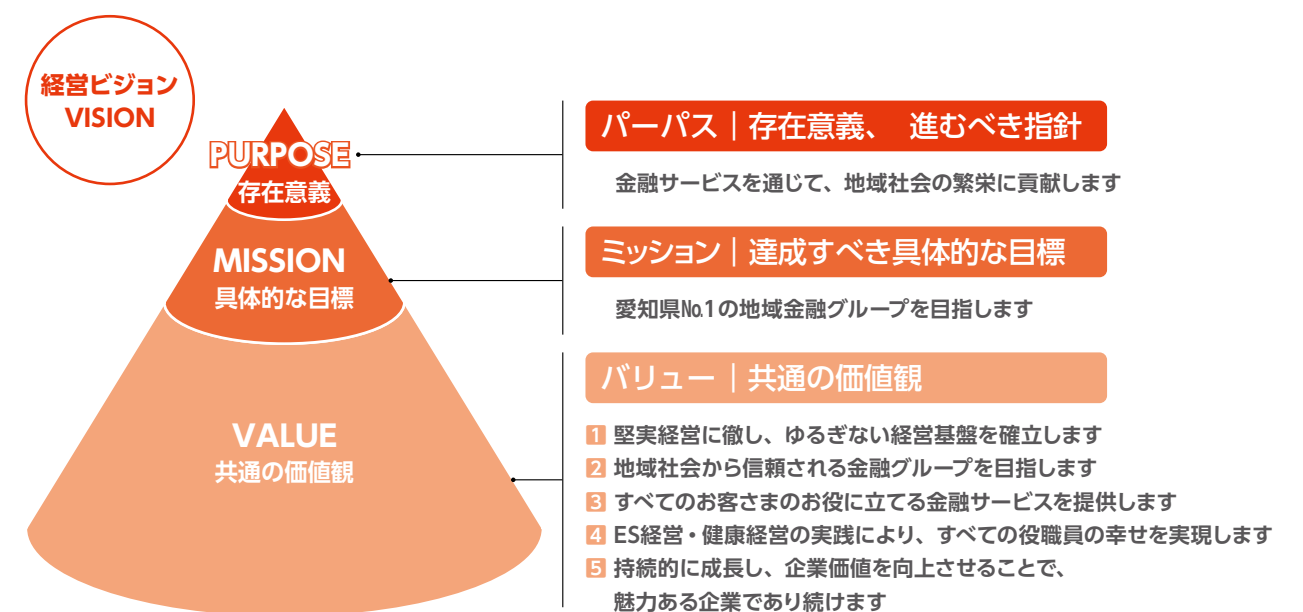
堅実でゆるぎなく、かつ挑戦をおそれずに。

愛知県 No.1 の地域金融グループを目指し、

いままでにない新たな価値を生み出していきます。



あいちフィナンシャルグループの経営理念



当金融グループは経営理念を経営ビジョン「VISION」と呼び、パーパス「PURPOSE」、ミッション「MISSION」、バリュー「VALUE」の3つの要素により、全役職員が目指す姿及び意思決定の際の指針とします。

社員一人ひとりへの経営理念浸透の取組み：

当社グループでは、社員一人ひとりが経営理念を身近なものとして理解し、日々の業務で体现できるよう、継続的な浸透活動に取り組んでいます。

その一環として、社長自らが定期的に配信する「社長通信」において経営理念に沿ったメッセージを発信するとともに、年頭の挨拶や営業店への臨店時には社員との直接対話を行うなど、経営理念を常に身近に感じられる環境を整えています。

社長通信 No.121 「経営ビジョン」

2026年4月1日

今日から新年度です。新たに124名の新入行員のみなさんを迎えました。
そして、2022年10月の経営統合から3年半が経ちました。
あいちFGでは経営統合に際して、「パーパス」「ミッション」「バリュー」からなる「経営ビジョン」を策定しました。
そこで、今回は、改めて「経営ビジョン」について確認したいと思います。
管理者は、新入行員が配属されたら、必ずこの「社長通信」を渡して「経営ビジョン」について説明してください。

1. 「経営ビジョン」

「経営理念」とは、一般的には「組織が果たすべき使命、存在意義」を表し、「企業が何のために存在するのか」を表しています。
あいちFGでは、「経営理念」を「経営ビジョン(VISION)」と呼び、「パーパス(PURPOSE)」、「ミッション(MISSION)」、「バリュー(VALUE)」の3つの要素により、全役職員が目指す姿及び意思決定の際の指針としています。全役職員が目指す姿及び意思決定の際の指針ですから、役職員のみなさんは業務上で何か判断する際、決定する際には、必ず「経営ビジョン」に沿った判断・決定をしなければなりません。

社長通信一部抜粋

統合報告書2026のポイント

POINT1 確かな成長と次なる飛躍：愛知県No.1を目指すトップの強い想い

当社グループは「愛知県No.1の地域金融グループ」を目指しています。トップメッセージでは、当社グループが目指す姿、第2次中期経営計画における具体的な成果に加え、三十三フィナンシャルグループとの経営統合に向けた基本合意書の締結、そして企業価値のさらなる向上へのトップの強い想いを語っています。

POINT2 ロジックツリーで明確にする、企業価値向上の道筋

企業価値向上のためには、ROEを持続的に高めることに加え、資本市場からの期待値であるPERを改善し、資本コストを安定的に上回る収益力を確立することが必要です。財務担当役員メッセージでは、企業価値向上ロジックツリーに沿って、当社グループが取り組む具体的な施策とその背景となる考え方について説明しています。

POINT3 第2次中期経営計画の進捗状況

当社グループの第2次中期経営計画は、計画スタートから1年が経過し、統合シナジーを発揮しながら順調に進捗しています。本誌では、コンサルティング・ソリューション型ビジネスモデルの深化、グループ経営基盤の強化、DX戦略の加速化の3つの基本戦略における具体的な取組状況を詳述しています。

CONTENTS

イントロダクション

- 01 あいちフィナンシャルグループコーポレートスローガン／経営理念
- 03 統合報告書2026のポイント／編集方針

ステークホルダーへのメッセージ

- 05 トップメッセージ
- 11 財務担当役員メッセージ
- 19 社外取締役メッセージ
- 22 経営統合に関する基本合意

価値創造の源泉と当社グループが目指す姿

- 25 あいちFGのあゆみ
- 27 価値創造プロセス
- 29 あいちFGの競争優位の源泉／培われた資本
- 31 マテリアリティ
- 33 長期計画ー2030年に向けて目指すべき姿ー
- 35 第2次中期経営計画

価値創造を実現する成長戦略

ROE向上に向けた取組み

基本戦略I コンサルティング・ソリューション型ビジネスモデルの深化

- 41 コンサルティング・ソリューション型
ビジネスモデルの全体像
- 43 ソリューションメニューの充実
- 49 顧客基盤の強化
- 52 グループ戦略の強化

基本戦略II グループ経営基盤の強化

- 57 新たな店舗網の再構築
- 58 人事担当役員メッセージ

- 59 人的資本経営の強化
- 61 人財育成
- 65 ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン
- 68 健康経営・働き方改革

基本戦略III DX戦略の加速化

- 71 DX推進の全体像
- 73 デジタル人財育成計画
- 75 顧客利便性・先進性の向上
- 76 業務改革・営業店事務ゼロ化

資本コスト低減に向けた取組み

- 79 サステナビリティ経営のガバナンスと推進体制
- 81 気候変動対応の取組みーTCFD提言に関する開示ー
- 88 自然資本・生物多様性の取組みーTNFD提言に関する開示ー
- 91 人権尊重の取組み
- 93 ステークホルダーとの価値共創

価値創造を支える経営基盤

- 103 コーポレートガバナンス
- 111 役員一覧
- 113 リスク管理
- 117 サイバーセキュリティ
- 119 コンプライアンスの取組み

コーポレートデータ

- 125 グループ財務データ
- 127 グループ非財務データ
- 129 企業情報

編集方針

当社グループの持続的な価値創造に向けた取組みをすべてのステークホルダーにご理解いただくため、本誌を作成いたしました。

当社グループの経営理念をはじめ、中期経営計画や財務情報に加え、価値創造やサステナビリティへの取組みなどの非財務情報を統合的に編集しております。

編集にあたっては、国際統合報告評議会（IIRC）が提唱する「国際統合報告フレームワーク」や、経済産業省の「価値協創ガイダンス」を参考にし、当行のビジネスモデルや、持続的な価値創造の仕組みを統合的に説明しております。

なお、詳細な財務データ等につきましては、「2026年3月期ディスクロージャー誌」を当社ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

※2021年6月に国際統合報告評議会（IIRC）はサステナビリティ会計基準審議会（SASB）と統合し、価値報告財団（VRF）を設立しています。銀行法に基づいて作成した「2026年3月期ディスクロージャー誌」は、ホームページにてご覧いただけます。



●報告対象

- 期間 2025年4月～2026年3月
一部に2026年4月以降の情報も含まれます。
- 範囲 あいちフィナンシャルグループおよびその子会社・関連会社

●別冊のご案内

ディスクロージャー誌2026（本編・資料編）は、あいちフィナンシャルグループのHPをご覧ください。

URL : <https://www.aichi-fg.co.jp>

●情報開示コミュニケーション

